



Lions Clubs International

# ライオンズの歴史

**1917年: その始まり** シカゴのビジネス界のリーダーであったメルビン・ジョーンズは、自らの才能を地域改善のために活用できないだろうかという、シンプルでありながらも世界を変えるような質問を投げかけました。それから約100年、ライオンズクラブ国際協会は45,000を超えるクラブで活躍する130万人以上の会員を擁する世界最大の奉仕クラブ組織に発展し、地域社会の改善に力を合わせようという創設当初と同じシンプルな考えのもとに無数の奉仕を行ってきました。

**1920年: 世界にはばたく** 創設からわずか3年後にカナダで最初のクラブが結成され、ライオンズは国際的な組織となりました。1927年、メキシコがその後に続きました。1950年代と1960年代にはヨーロッパ、アジア、アフリカでクラブが結成され、ライオンズは国際的な発展を遂げました。

**1925年: 失明根絶** 米国オハイオ州シーダーポイントにおけるライオンズクラブ国際大会で講演をしたヘレン・ケラーがライオンズに対し、「暗闇と闘う盲人の騎士」となるよう呼びかけました。それ以来、私たちは失明者など視覚障害者への援助に力を注いでいます。

**1945年: 諸国を結ぶ** 国際的な組織としての理念は、ライオンズと国際連合との不朽の結びつきが具体的に表しています。ライオンズは国際連合が協力を求めてきた最初の非政府組織の一つとして国際連合憲章の起草に助力しました。それ以来、国連の仕事をサポートしています。

**1957年: 青少年プログラムを企画** 1950年後半、私たちは世界中の青少年にボランティア活動を通じて個人的な成長を促す機会を提供すべくレオ・プログラムを設けました。現在世界140カ国以上にある5,700のレオクラブで、144,000人のレオ会員が活動をしています。

**1968年: ライオンズの財団創設** ライオンズクラブ国際財団は世界規模および地域で行われる大規模な人道的な事業に取り組むライオンズを援助します。私たちの財団を活用してライオンズは、地域の、そして世界各地のニーズを満たしています。

**1990年: 視力ファーストに着手** 視力ファーストを通じてライオンズは、全世界で視力回復と失明予防に努めています。1990年に着手したこの取り組みのために、ライオンズは3億4,600万ドルを超える資金を集めています。視力ファーストは失明の主因である、白内障、トラコーマ、河川失明症、小児期の失明、糖尿病性網膜症、そして緑内障を取り組みの対象としています。

**現在: 援助の手を差し伸べる** ライオンズクラブ国際協会は毎日、世界の至る所にある地域社会で、私たちの使命である奉仕を広げています。ニーズは大きく、それらに応えるべく私たちは視力、健康、青少年、高齢者、環境、災害援助等、幅広い奉仕を行っています。ライオンズの国際規模のネットワークは200を超える国々および領域をつなぐものと広がっています。